



☆どうぞご自由にお持ち帰りください☆

がん検診は受けるべき？～医師が教える最新事情

「がん検診なんて無駄」

「がん検診、やればやるほど死者を増やす」

という医療否定を堂々と書いた本が、100万部も売れたといいます。心ある多くの医師が、天を仰ぐばかりでは、人々の疑問に答えることはできません。がん検診のような、もともと面倒なことに時間を使うのは嫌なのに、無駄と言われると、その意見に流されてしまうのが世の常です。

早期発見、早期治療で、90%以上助かるがんが急増

「がん検診はすべて無駄」

「がんは放置せよ」



と言うのは、全く大ざっぱな、最新の医学的知見を無視した意見です。「がん」と呼ばれる病気でも、できた部位によって、進行の過程も、生存率も大きく異なります。同じ「がん」と呼べないほど違うのです。糖尿病や高血圧症などの慢性疾患のように、上手く付き合っていけば天寿を全うできる「がん」もあります。反対に急速に進行して、3カ月後には死に至る「がん」もあります。100%死に至る「がん」であったのが、現代医学のおかげで、90%以上助かるようになった「がん」もあります。「がん」＝死の病というのは、過去のことであり、多くの「がん」の死亡率は下がっています。明らかに長く生きることができるようになったのです。

最近、Lancet 誌に世界71カ国のがんの生存率のデータ (CONCORD-3 study) が発表されました。膨大な数を集積して、2000年から5年ごとの生存率が集計されています。日本はおおむね上位ではありません。(ウラに続く)

♪糖尿病教室♪ ※糖尿病以外の方、ご家族も大歓迎です。

9月12日(水) しっかり食べて夏の疲れを解消しよう! ～コツ知れば 血糖管理も お手のもの～

管理栄養士：結川美帆

時間：16時30分～17時30分 場所：真生会富山病院 わかばカンファレンス室(本館3階)

9月26日(水) 糖尿病の合併症について 日本糖尿病療養指導士：今城都志枝

時間：16時30分～17時30分 場所：真生会富山病院 わかばカンファレンス室(本館3階)

♪健康ワンポイント教室♪

9月20日(木) 知らないで損? 医療費のしくみについて

講師：深田佳栄子(医事課 課長)

時間：12時15分～12時45分 場所：真生会富山病院 総合受付前(本館1階)

特に消化器癌においては世界トップクラスです。人種地域差がありますから、生存率が高いところが、医療水準が高いとは言い切れません。特に注目すべきは、5年毎の集計で各国のがん生存率が向上していることです。日本でも

乳癌 (85.8% → 88.9% → 89.4%)

結腸癌 (63.4% → 66.8% → 67.8%)

小児リンパ性白血病 (79.7% → 83.7% → 87.6%)

と、生存率の明らかな向上がありました。かつて20年前に「がんと闘うな」「放置療法」を唱えた医師があり、早期がん発見もいらない、進行がんの手術も化学療法も一切無意味と主張しました。彼の根拠としていたのは、早期がんは元々がんでないし、進行がんは何をしても治らないというものでした。当時のがん治療では、そのように考えても仕方のないようながんも確かにありました。しかし医学はあきらめずに、この20年もひたすら、がん患者の生存率向上に向けて「闘って」きたのです。統計学では、生存率の向上は、なかなか示にくいものです。そこにつけこまれて、誤った主張がまかり通ったのです。明らかにこの10年で癌治療の向上が見られてきましたので、旗色が悪くなり、最近ではトーンダウンしているようです。代わりに「高血圧も糖尿病治療もすべて意味がない」という主張に切り替えておられるようですが。

受けるべきがん検診は？有用なのは「胃、肺、大腸がん検診」

検診には、自覚症状のない時期にがんを発見するというメリットがあります。自覚症状が出たがんは、すでに進行がんであることが多いからです。反面、健康な多くの人に、無駄な検査を行うということになります。特に公的な資金で行う場合は、経済面も考慮して、それらのバランスから検診は有効かどうかを考える必要があります。発見する必要性の低いがん（前立腺、甲状腺）は、検診の必要はありません。また、非常に稀な癌も検診の対象になりません。国立がん研究センター がん予防・検診研究センターでは、科学的根拠に基づくがん検診を推奨しています。まずは40才以上の男女の、年に1回の「胃、肺、大腸がん」検診です。加えて女性は子宮頸部、乳房を勧めています。これらはすべて自治体で行われています。

最近、次々と出てきている新しい手法の遺伝子検査は、まだ研究段階です。これから陸續と、臨床研究の結果が出てくるでしょう。また、がん治療法も、抗体療法から遺伝子治療へ向けて、射程距離に入ったといつてよいでしょう。放置などとんでもない。がん検診について正しい理解をし、40歳を過ぎたらがん検診を受けましょう。



♪出張講座♪

地域のみなさまとの交流や、健康づくりのお手伝いとしてさまざまなテーマで「出張講座」を行っています。知りたい、聞きたい、体験したい講座をお申し込みください。詳細は院内の掲示物やパンフレット、ホームページで紹介しています。

☎お申し込み：あらかじめお電話でご相談を承ります。 TEL：0766-52-1556